

平成 18 年 6 月 1 日

Ref.06-0601-008

お持ち帰り用の透明アイスカップに バイオマスプラスチック容器を全店導入 ～石油資源を使用しない新たなプラスチック～

モスバーガーを展開する株式会社モスフードサービス（代表取締役社長 CEO 兼 COO：櫻田 厚、本社：東京都新宿区）では、本年 7 月より、モスバーガー全店にてお持ち帰り用透明アイスカップにバイオマスプラスチック容器を使用開始します。バイオマスプラスチック容器を全店で使用する国内の大手外食チェーンは、当チェーンが初めてとなります。新容器を使用することにより、今後 1 年間あたりプラスチック素材原料 約 130 t 相当の使用を削減することになります。（昨年度使用量実績比較）

バイオマスとは、生物資源（bio）の量（mass）を表わす概念で、「再生可能な生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの」を称します。地球に降り注ぐ太陽のエネルギーを使って無機物である水と二酸化炭素から、生物が光合成によって生成した有機物であり、私たちのライフサイクルの中で、生命と太陽エネルギーがある限り持続的に生成可能な資源です。（2006 年 3 月 31 日閣議決定・「バイオマス・ニッポン総合戦略」より）

バイオマスプラスチックは、植物のデンプンが主な原材料で、石油を初めとする化石資源を節約でき、二酸化炭素削減に効果があると言われています。今回導入のバイオマスプラスチックはとうもろこしのデンプンを原料として使用しています。

新容器は、2005 年 4 月より愛知県内の一部実験店舗にて実用化への検証を進めてきたものです。今回、同時に開始するお持ち帰り用ポリ袋全廃と合わせ、環境活動をお客さまに呼びかけていく試みの一環として全店導入を決定しました。

当チェーンでは平成 16 年 3 月 24 日に株式会社モスフードサービス及びモスバーガーチェーンにおいて環境マネジメントシステムの国際規格である ISO14001 の認証を取得して環境活動を推進しています。

モスフードサービスでは、「人間貢献・社会貢献」の経営理念のもと、「おいしくて、安全で、健康にいい商品」を「真心と笑顔のサービス」とともに提供することに一貫して取り組んでいます。今回のバイオマスプラスチック容器の全店導入は、チェーン内部のみならず、関係会社や協力会社を含む当社・当チェーンに関わるすべての方々をはじめ、お客さまにまで環境活動・社会活動の輪を広げるための試みです。今後も、容器・包装の「脱石油」への転換を順次進めていく予定です。

<この件に関する問い合わせ先>

株式会社モスフードサービス 広報室 TEL. 03-3266-7171 FAX. 03-3266-7110

〒162-8501 東京都新宿区筆筈町 22 番地

<http://www.mos.co.jp> E-mail. pr@mos.co.jp

< バイオマスプラスチック容器の使用について >

容器名称 透明アイスカップ

導入時期 平成 18 年 7 月 ~ (順次切替え)

導入店舗 モスバーガー全店

新容器の使用用途 コールドドリンクのお持ち帰り容器として使用

透明アイスカップを使用する主なコールドドリンク

- ◇ 炭火アイスコーヒー
- ◇ メイプルアイスカプチーノ
- ◇ 玄米フレークシェイク 他

プラスチック素材原料使用低減効果

昨年度使用実績比較により 約 130 t 相当の使用低減